

幾代会 観 察 会(2023年6月)の ま と め



- 日 時 :6月4日(日)
- 集合場所:西武線 拝島駅 改札を入った場所
- 集合時間:9時 25分
- 観察場所:北山公園
- ポイント:ハナショウブ
- ルート :東村山駅～弁天池公園～正福寺～北山公園～八国山たいけんの里～下宅部遺跡はっけんのもり～西武園駅(2.5Km)

●参加者：梅田さん、太田さん、大村さん、羽深さん、中部さん、石川さん、武藤さん、浅井さん、岡さん、越前の10名下見：5月19日 3名

◆6月の植物観察会のポイント 2点

●ハナショウブ



「北山乙女」は北山公園で5年ほど前に作出された品種で北山公園でしか鑑賞することが出来ません。名前は市民から公募を募り、150もの応募から決定されました

「北山乙女」の花の特徴は長井系、中型、丸弁、3英、平咲きのスプーン咲、花弁は白地に紫の砂地、鉾弁で中白、白覆輪です。片親は「三淵の波」でもう片親は不明。園内の5ヶ所に植栽。

●アヤメ・カキツバタ・ハナショウブの区別


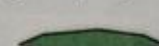



いずれアヤメかカキツバタと言われ、同じアヤメ属な

ので識別が難しいです。

下記の図のように葉と花弁の違いで見分けることができます。

他にも咲く時期や咲く場所での識別点もあります。

咲く時期はアヤメ→カキツバタ→ハナショウブの順であいうえお順なので覚えやすいです。

葉の 違い	ハナショウブ  幅が中ぐらい 筋が鮮明	アヤメ  幅が細い 筋が不鮮明	カキツバタ  幅が太い 筋が不鮮明
	花卉の 違い	 弁元に黄色い目	 弁元に網目模様

◆散策路の植物。



ハナショウブと言えは吹上のショウブ園ですが、6月の観察会は東村山の北山公園へ遠征です。
 東村山の顔と言えは「志村けん」まずは駅の東口に有る銅像と3本のケヤキを見学。

弁天池公園で咲いていたピンク色の温帯スイレンを見て自生のヒツジ草と温帯スレイン、熱帯スイレンの違いを説明。
 水中にスイレンの果実が有るかな〜と持参したスティックで探しましたが残念！



ボダイジュ

弁天池公園の隣には梅林や畑が広がり東村山は意外とのんびりとした気持ちの良い光景が広がっています。

道沿いの国宝の正福寺地蔵堂の説明を OK さんにお願ひしました。

何時もながら大きな声でてきぱきとした分かり易い説明を有難うございます。

地蔵堂の奥には幹回りが1m以上も有るような堂々としたボダイジュが下向きに淡黄色の花。

そういえば昨年もある野市の慈眼寺でボダイジュの花を観察しました。

お寺さんにはお釈迦様にちなんだボダイジュです。昨年は同じ時期に咲き始め、今年は花が早くもう満開です。

正福寺を左折し、案内ののぼりに沿って、観光客気分ですくと、ほどなく目的地の北山公園。

あらまあ～サスガに6月の日曜なので観客が多いこと。

皆さん、迷子にならないでねえ～～

園内で忙しそうに案内するガイドさんをお願いしてハナショウブの説明を聞きました。

事前の調べでは 300 種、約 10 万本の花ショウブを見ることが出来る。と書いて有りましたが、説明を受けたガイドさんによるとナント 700 種あり、多過ぎて名札の付けようが無いとのことでした。

実際より少なめに宣伝するのは東村山の市民性とのことでした。

青梅の吹上しょうぶ公園は谷戸地に品種ごと一列に整然と並べて植えて有ります。

こちら北山公園は景色も配列も開放的でピンク、白、うす紫の優雅な花ショウブが楽しめます。

門外不出の「北山乙女」とアヤマ類の識別はポイントにて説明。



東村山・北山公園

5 分咲きの花ショウブを楽しみ園内の北側西武多摩湖線の線路近くの「三春の桜」の下でランチタイム。



クワ



ドクダミの観察

大きなシダレザクラの木陰は涼しく、吹き抜ける風も爽やかでホット一息です。

食後には差し入れて貰ったベトナムのキャンディーやクッキーの甘いものでお腹が大喜び。

園内の木道を歩き、北山小学校を抜けて大関橋で北川を渡ると「八国山たいけんの里」に到着。

5月も話題に成ったユリノキや「これなあに」とORさんから聞かれたハクウンボクを見て1ヶ月の木々の成長ぶりを観察。

葉の下に1cぐらいの緑の幾つもの果実がブラブラと垂れ下がっていました。

隣接する「下矢宅部遺跡はっけんのもり」は「日本の歴史公園 100 選」に指定されています。

日本 100 景をはじめ、湧水・城・滝等の色々な 100 選の指定が有ります。「下矢宅部遺跡はっけんのもり」には縄文人が利用してきたクリ、コナラ、マテバシイ、クヌギ、クワ等の樹木を植栽。

本日のデザートはみんな一緒に黒く熟したクワの実です。

「あら～～美味しいわね」の声
桑の実が熟した青黒い色はドドメ色。。

看板だけが設置してある遺跡に比べ、ご先祖の縄文人の生活を彷彿出来る良い公園です。

木陰でそれぞれが持参したルーペを覗きドクダミやタンポポの花の観察。
これからもルーペの世界を楽しめればと思います。

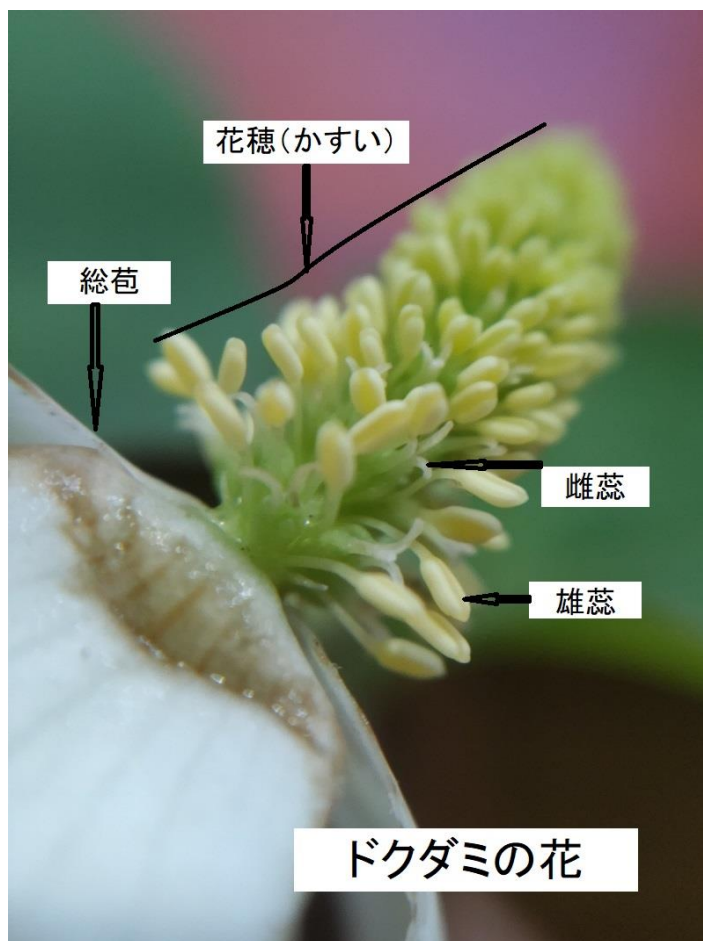
クワの葉に切れ込みが有るので葉の形状の説明。

葉の 34%は切れ込みが有り、残りの66%は切れ込みが有りません。

そのうち64%に鋸葉があり、マテバシイのような全縁の葉は36%です。

https://jspp.org/hiroba/q_and_a/detail.html?id=3320

又、鋸葉の働きは上記を参照ください。



ところでスマホにダイソーで買ったレンズを付けてドクダミの花を撮影し、説明用の資料を作成しました。

雌蕊(めしべ)の先端が三つに分かれているのが解ります。

雄蕊(おしべ)が 3 本なのはチヨット解りにくいですね。

乗車予定の西武園駅で電車の待合時間を利用し、10名の参加者から今日の感想を一言。

「初めて訪れた見ごろのハナショウブが良かった」との意見と共に2.5Kmの歩行距離が丁度良かったとの意見。

「距離が丁度だった人？」

「は～～い」と元気な返事で今日も楽しい一日が終わりました。

参加の皆さん、お疲れ様でした。

2023. 6 越前記